

チームワーク
フットワーク
ネットワーク

麓っ子

令和2年 1月 8日号
鳥栖市立麓小学校
校長 西川 哲也
Tel 0942-83-2013
<https://www.education.saga.jp/hp/fumoto-e/>



3学期スタートです



明けましておめでとうございます。各ご家庭では良い年をお迎えのこととお喜び申しあげます。また、ご家庭・地域の皆様方のご多幸を心よりお祈り申しあげます。

さあ、3学期が始まりました。1学期や2学期と比べると期間は一番短いですが、この1年間の学習のまとめをすると同時に、来年度の準備をする大事な時期に入ります。

1年生は4月になると2年生となります。あいさつや話の聞き方など新入生にお手本を見せられるように頑張ってもらいと思います。

また、2年生、3年生、4年生は、特に勉強面で苦手なところや分からないところを3学期のうちにできるようにしてほしいと思います。

5年生は、6年生からバトンを引き継ぎ、麓小学校の顔となっていきます。学校のリーダーとしてふさわしい行動や言葉遣いができるように心掛けてほしいものです。

そして6年生は、残された2ヶ月あまりを小学校のまとめと同時に中学生になるための準備の時間として過ごし、気持ちよく卒業式を迎えてほしいと思います。

私たち教職員は、引き続き子どもたちの健やかな成長を願いながらより良い教育活動をめざして努力して参ります。ご家庭におかれましても、お子様が次の学年や中学校に向けての希望や意欲を高められるよう、励ましの言葉を掛けていただきますようお願いいたします。



一日一笑

今日の始業式では、「一日一笑」という話をしました。これは「いつも明るく笑っていれば幸せがやってくる」という意味です。自分が笑っているときや笑っている人を見たときは、とても幸せな気分になりますよね。

授業も「つまらないなあ」とか「いやだなあ」と思っているとやる気のない嫌な顔になり、周りの人も嫌な気持ちになります。反対に「おもしろそう」「楽しそう」と自分から進んで発表したり調べたりすると勉強がぐんぐん楽しくなり、笑顔になります。周りの友達も笑顔になり、やる気が出てきます。そんな笑顔がいっぱいの3学期になってほしいと願いながら話しました。キーワードは、「自分から楽しく！」です。



子どもの話に耳を傾けよう

子育ては難しいものです。私も一人の親として実感しています。その時はよかれと思って言ったりしたりしたことも、あとで「もう少しこうしておけばよかった」「あんなふうに声を掛けてあげればよかった」と思うことがよくあります。

そこで新年にあたりまして、子どもたちを育てる私たち大人に向けたアメリカの自己啓発家、デニス・ウェイトリー氏の詩を紹介します。

『子どもの話に耳を傾けよう』

きょう、少し
あなたの子どもが言おうとしていることに
耳を傾けよう。

きょう、聞いてあげよう。
あなたがどんなに忙しくても。
さもないと、いつか子どもはあなたの話を聞こうとしなくなる。

子どもの悩みや要求を聞いてあげよう。
どんな些細な勝利の話も、
どんなにささやかな行いもほめてあげよう。
おしゃべりを我慢して聞き、
いっしょに大笑いしてあげよう。
子どもに何があったのか、
何を求めているのか見つけてあげよう。



そして言ってあげよう、愛していると。毎晩毎晩。
叱ったあとは必ず抱きしめてやり、
「大丈夫だ」と言ってやろう。

子どもの悪い点ばかりをあげつらっていると、
そうやってほしくないような人間になってしまう。
だが、同じ家族の一員なのが誇らしいと言ってやれば、
子どもは自分を成功者だと思って育つ。

きょう、少し
子どもが言おうとしていることに耳を傾けよう。

きょう聞いてあげよう。
あなたがどんなに忙しくても。
そうすれば、
子どもはあなたの話を聞きに戻ってくるだろう。



入賞おめでとう

【博愛フェスタ2019全国博愛絵画展】

博愛賞 5年 白土 夏帆 さん

【「わたしの夢のトラック」絵画コンクール】

優秀賞 4年 末藤 力渡 さん

【統計グラフ佐賀県コンクール】

佳作 1年 大出 怜央 さん

佳作 2年 西澤 孝太郎 さん